

～事業報告（添付書類）～

(1) 令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業報告の内容報告の件（1/8）

I はじめに

多摩市シルバー人材センターは、昭和55年に多摩市高齢者事業団として発足し、その後、昭和61年に法制化され、平成23年4月に公益社団法人へ移行して、就業を通じて社会参加を求める健康で働く意欲のある、60歳以上の市民の就業機会を組織的に確保・提供し、高齢者就業を支える重要な役割を果たしてきました。

平成24年度から自主・自立、共働・共助を基本理念とした「中長期計画」の実現に取り組み、計画最終年度の令和3年度は会員数及び契約額の伸び率が、都内58センターでトップの業績を挙げることができました。4年度は新たに策定した「中期経営計画」に基づき、①お客様に選ばれるセンターになる、②働きたいシニアに選ばれるセンターになる、③重篤事故を未然に防ぐ仕組みをつくる、④持続的に成長可能な経営基盤をつくるの4つの大方針の具体化に着手し、計画2年目の5年度は組織を挙げて、計画推進に努めました。

令和5年度を振り返ると、気候変動や不安定な国際情勢とそれらがもたらす物価高騰や円安の影響、さらには昨年10月施行のインボイス制度等厳しい環境下で、新たな第7期理事体制を組み、組織力を結集して様々な施策を押し進めてきました。また、昨年6月にはこれまで21年間空席であった名誉理事長職に阿部多摩市長が就任されました。多摩市が進める「健幸まちづくり」の一翼として、センターは「健幸就業」をさらに推進していきます。

5年度事業計画で優先的・重点的に取り組む事項と位置付けた①会員に向けた取り組み、②お客様に向けた取り組み、③重篤事故を防ぐ取り組み、④経営基盤の強化の4項目については、役員及び会員の皆さんと職員のためまぬ努力の結果、所期の目的をほぼ達成しました。

特に会員拡大については、全国的に会員数が減少傾向にある中、当センターはコロナ禍で3年間免除してきた会費徴収を再開する中、初めてハローワークと連携した出張説明会の実施や、応募数が少ない職種に焦点を当て、呼称と配分金水準を見直してチラシを全戸配布するキャンペーン効果等により、前年度より会員が104名増加しました。また、センターの会員への安全配慮の観点から、シルバー保険料はセンターが全額負担することを制度化しました。

～事業報告（添付書類）～

(1) 令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業報告の内容報告の件（2/8）

事業実績については、請負・派遣の合計で、対前年度 2.9%増の 6 億 4,997 万円余となっています。この主な要因は、派遣事業における流通業での仕分け業務が大幅減になった一方、営業開発会議を中心とした新規就業開拓に積極的に取り組んだ結果等によるものです。また、経営基盤の強化として和田ワークプラザⅡに植栽等の業務の一部を担うグリーンサービスセンターを 6 年度に向けての開設準備を行いました。

また、全国的にも例を見ない新たな取り組みとして、昨年 7 月市内大手企業の特例子会社と、「地域共働サービスに関する包括連携協定」を締結し、高齢者と障がい者が相互の強みを生かした連携により、両者の活動領域の拡大及びサービス向上に取り組んでいます。

地域貢献分野では理事連絡会での協議に基づき、前年度に続き非常勤理事を中心に「ゆるたまネット」（社会福祉協議会が事務局）のフードドライブ活動に参画し、今年は 176 個、82 kg の大量の食品寄付が会員から寄せられています。会員の関心も高まり、ボランティア活動として継続できる基盤作り、体制ができつつあります。

こうした実績が注目されて、この数年間に厚生労働省や全国シルバー人材センター事業協会、複数の県連合やセンターからの視察や問い合わせが相次いでいます。

センターは、これまでの確かな実績を令和6年度に引き継ぎ、喫緊の最重要課題であるインボイス制度、及びフリーランス新法によるシルバー事業の契約関係の見直し準備に万全を期し、中期経営計画が目指す「就業を通じた地域貢献」の実現を目指します。

Ⅱ 主な事業

令和5年度事業計画における優先的・重点的事項としての取り組み、及びその結果としての会員数及び事業実績は以下のとおりです。

～事業報告（添付書類）～

(1) 令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業報告の内容報告の件（3/8）

1 就業開拓の推進

インボイス制度や物価高騰等の厳しい環境下で、組織を挙げて営業開発に取り組み、未就業会員への就業機会の提供とともに、センターの財政基盤の安定強化に努めました。これまでの待ちの姿勢から積極的な営業推進に舵を切り、組織として昨年8月に新たに「営業開発会議」を要綱設置し、定期的に会議を開くとともに、営業経験豊富な会員を引き続き就業開拓員として委託し、就業開拓を推進しました。その成果も相まって新規受注件数は事業所42件、個人は100件を超えており2,000万円余りとなっています。

2 会員サポート体制の整備

初めて入会し就業しようとする会員のために、安心して就業できる環境の整備に努めました。具体的には、入会説明会の段階から、仕事に就くための仕組みと方法の説明及び非常勤理事による就業体験談を伝えて、不安感を払拭し、積極的に就業へチャレンジするよう促しました。また、就業内定者には外部講師による接遇研修を含む就業内定者研修や、就業先での現場研修を実施しました。さらにリーダー会議では、事故の中で最も多い転倒について、外部講師を招き、予防講座を開催しサポートの充実に努めました。一方、未就業会員に対しては、年4回の就業公開募集、及びシルバー多摩だよりでのおしごと情報コーナーの他に、センター会議室にて「おしごと相談会」を開催し、急募している就業情報を提供するなどきめ細かいサポートを行いました。また、全会員にアンケート調査を実施し、会員情報のデータベースのリニューアルを図るとともに、デジタル端末の利用実態を把握し、新たな契約方法の変更に伴う会員との情報共有の新たな施策に生かしていく考えです。

3 安全な就業環境の整備

加齢による様々な機能の衰えと向き合っている会員にとって、安全はすべてに優先する事項であり、組織的に安全環境の向上に取り組みました。具体的には、安全・適正委員会を年3回開催し、特に車両運転が業務に含まれる就業については、高齢者の運転事故を防ぐため、就業の基準の内規を見直して、会員の年齢を原則75歳までとし、75歳以上は毎年度検査や技能講習、認知症検査を受けることとし、更新は79歳を限度にすることとしました。

～事業報告（添付書類）～

(1) 令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業報告の内容報告の件（4/8）

また、職群担当理事による夏季・冬季の安全巡回の実施、昨年7月のリーダー会議の開催、さらに11月には研修大会を開催し、産業医の田村先生による「人生100年時代を元気で楽しく働く秘訣」の基調講演等を行いました。また安全衛生委員会を毎月開催し、産業医からコロナやインフルエンザ等の感染対策を伺い多摩だよりで会員に周知しました。さらに住宅や学校、公園の就業先には就業サポート連絡員（旧安全巡回指導員）を配置して、就業のサポートや安全環境の向上を図りました。一方、ハード面では和田ワークプラザⅡを活用し、より安全な就業環境の整備を図りました。事故件数については傷害20件（前年度16件）、賠償8件（前年度7件）となっており、幸い重篤事故は起きてませんが、引き続き事故防止に組織を挙げて取り組むことが重要となっています。

4 インボイス制度及びフリーランス制度への対応

昨年10月からインボイス制度が施行され、当センターのみならず全国1,300のセンターにとっても非常に大きな影響を及ぼす最重要の課題となっています。このため数年前から全国シルバー人材事業協会（以下「全シ協」という。）は、インボイス制度からシルバー人材センターを適用除外とするよう国に粘り強く働き掛けてきましたが、最終的に適用除外は困難となりました。

このままいけば、存続が危ぶまれるセンターが続出することが懸念される中、厚生労働省から、昨年5月にフリーランス法が制定・公布されたのを機に、シルバー人材センターの契約方法について見直しを行うよう方針が示されたところです。

この新しい契約関係においては、会員の配分金に含まれる消費税については、インボイス制度によりセンターが負担するとなっていました。その義務がセンターから発注者になるため、センターはインボイス制度による消費税負担増を回避できるようになります。詳細については、現在、国や全シ協において検討されているところです。センターは全シ協や東京都連合の指示等をふまえて、的確な準備を進めていく考えです。なお、5年度のインボイス制度の影響（半年分）については220万円余です。

～事業報告（添付書類）～

(1) 令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業報告の内容報告の件（5/8）

5 理事活動の活性化

これまで非常勤理事は、就業しながら理事の職責を果たすという2役を担ってきた関係から、理事会への出席と職群担当理事としての活動が主でした。当センター定款には、社会奉仕活動等を通じて、高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業を行うとあります。そこで理事長から、公益団体として地域貢献活動に積極的に取り組む方針が示され、前年度から始めた社会的要請の高い「フードドライブ」活動を、5年度も「ゆるたまネット」に参画し実施しました。活動2年目となり会員にも周知が浸透し、地域に貢献することができました。

また、6年の幕開けと共に起きた能登半島地震への被災地支援のために、理事連絡会で協議し、事務所内に義援金箱を設置しました。

6 事務局体制の整備

事務局はセンターの円滑な事業経営を支える組織であり、その体制の充実・強化を図ることは、会員の幸せとセンターの発展に直結します。風通しの良い職場で、職員一人ひとりが伸び伸びと能力を発揮し、公正で客観的な評価と処遇への反映が可能となるよう、人事評価制度を運用して、組織の活性化に努めました。また、中期経営計画の着実な推進、並びに会員拡大及び就業拡大、さらにはインボイス制度・フリーランス制度への確に対応するため、新たに主任1名を登用し全体で主任5名体制により、ロアーマネージメントの強化を図りました。また他センターでは例を見ない、バックオフィス機能を担う「業務支援係」を組織化したことで、事務局の事務の標準化・平準化が進み、生産性が向上するなど事務局執行体制の整備を図りました。

～事業報告（添付書類）～

(1) 令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業報告の内容報告の件（6/8）

7 会員数・事業実績・就業延人員

事業計画では令和5年度目標値として、会員数 1,335 名以上・事業費総額 5 億 9,837 万円以上（請負 4 億 8,670 万円、派遣 1 億 1,167 万円）を掲げました。上述したように、組織を挙げて諸施策に積極的に取り組んだ結果、会員数は 1,420 名と目標値を大きく上回っています。また、事業費総額は、派遣事業における流通企業の仕分け業務に大幅な減額がありましたが、その分を新規業務の受託により、総事業実績は 6 億 4,997 万円余で、昨年度比で 2.9% 上回っています。請負は 5 億 1,969 万円余で、前年度比で 1.9% 上回っており、派遣は 1 億 3,028 万円余で、前年度比で 6.7% 上回っており、目標値を超えています。就業延人員は、就業拡大に伴って増え、前年度に続き 10 万人を超えて 106,895 人日と目標値（98,880 人日）をクリアしました。

～事業報告（添付書類）～

(1) 令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業報告の内容報告の件（7/8）

Ⅲ 総会、理事会及び委員会等の開催状況

(1) 第13回定時社員総会

開催年月日	主な内容
令和5年6月23日 パルテノン多摩小ホール 会員数 1,349名 出席者 55名 (委任918名・議決権行使7)	1 令和4年度事業報告の件 2 令和4年度決算の承認の件 3 理事9名選任の件 4 監事1名選任の件 5 会員会費規程の一部改正の件

(2) 理事会

開催年月日	主な内容
第1回 令和5年4月24日	1 会員の入会について 2 第13回定時社員総会の招集決定について 3 理事候補者の選任について 他
第2回 令和5年5月31日	1 会員の入会について 2 令和4年度計算書類等の承認について 3 第13回定時社員総会に付すべき議案について 他
第3回 令和5年6月23日	1 理事長の選定について 2 専務理事の選定について 3 常務理事の選定について 他
第4回（みなし決議） 令和5年7月26日	1 会員の入会について 2 植栽委員会委員2名の選任 3 決議があったとみなされる日の件 他
第5回 令和5年8月30日	1 会員の入会について 2 営業開発会議設置要綱の制定について 3 研修委員会設置要綱の廃止について 他
第6回 令和5年9月27日	1 会員の入会について 2 令和6年度予算編成方針について 3 全シ協主催「シルボンヌ全国大会」について 他
第7回 令和5年10月25日	1 会員の入会について 2 令和5年度団体傷害保険料について 3 令和6年度予算編成方針について 他
第8回（みなし決議） 令和5年11月29日	1 会員の入会について 2 決議があったとみなされる日の件 3 第80回11月就業公開募集の結果について 他
第9回 令和5年12月28日	1 会員の入会について 2 役員賠償責任保険について 3 事務規程の一部改正について 他
【臨時】第1回 令和6年1月9日	1 職種名等の改称について
第10回 令和6年1月31日	1 会員の入会について 2 令和6年度予算の概要について 3 営業開発の進捗状況について 他
第11回 令和6年2月28日	1 会員の入会について 2 令和5年度第二次補正予算について 3 団体傷害保険料に関する規程を廃止する規程の制定について 他
第12回 令和6年3月27日	1 会員の入会について 2 令和6年度事業計画について 3 役員の就業について 他

～事業報告（添付書類）～

(1) 令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業報告の内容報告の件（8/8）

(3) 委員会等

会議名	回数
経営会議	27回
安全適正委員会	3回
安全リーダー会議	1回
就業者選考委員会	4回
配分金検討委員会	1回
植栽委員会	5回
安全衛生委員会	12回

就業審査会は対象事案の発生がないため開催なし。

(4) 就業研修（会員）

研修名	開催日	参加者	備考
内定者研修	6月12日	24名	接遇研修同時開催
	9月19日	18名	接遇研修同時開催
	12月21日	22名	接遇研修同時開催
	3月15日	24名	接遇研修同時開催

(5) 研修大会（リーダー・サブリーダー）

研修名	開催予定日	参加者	備考
研修大会	11月27日	関戸公民館 VITAホール 109名	○基調講演「人生100年時代に向けて、いつまでも元気で楽しく働く秘策について」 ○健幸レシピ